

アマデイマンドリンアンサンブル 演奏会

2003年2月11日(祝) 14:00開演
墨田区生涯学習センター ユートリヤ
マスターホール

----- Program -----

W.A. Mozart : メヌエット、コントレタンツ

U. Bottacchiari : 五月の夕べ、落葉

L.v. Beethoven : メヌエット、モデラート

W.A. Mozart : アヴェヴェルムコルプス

A. Amadei : セレナテルラ

休憩

湯浅／吉田 : RuRu

J.S. Bach : アリア (管弦楽組曲第3番より)

H. Ambrosius : 組曲第6番

プレリュード—エヌエット—サラバンド—ガヴォット—バディネリ

曲目解説

Johann Sebastian Bach: アリア（管弦楽組曲第3番よりAir）

A. ヴィルヘルミのヴァイオリンソロ用の編曲で、「G線上のアリア」として良く知られた曲の原曲。各声部それぞれの美しい旋律が、ときにはみ合い、また調和する。バランスのとれた演奏が必要な曲である。当団でも取り上げる機会が多い。本日は弦楽部をマンドリンとマンドラで、通奏低音部をピアノで演奏する。

Ugo Bottacchiari: 五月の夕べ 落葉

ボッタキアリは「交響的前奏曲」など、大曲の作曲者として知られているが、本日演奏する2曲の他にも、4本のマンドリンとマンドラのための作品など、いくつかの室内樂的マンドリン作品を残している。「五月の夕べ」は、作者の得意とする極めて美しい旋律の小品である。「落葉」は、旋律の美しさもさることながら和音の響きが美しい。バランスの取れた和声、主旋律と対比して動く対旋律をうまく表現できるかお聴きいただきたい。

Wolfgang Amadeus Mozart: アヴェヴェルムコルプス

（「めでたし、まことの御体」K.618）

弦楽合奏とオルガンの伴奏によって歌われるこのモテットは、モーツアルトの晩年に書かれた小品である。教会からの依頼ではなく、友人に捧げるために作られたと言われている。本来伝統的な祈りを歌った音楽であるので、言葉の理解が音楽にも不可欠なはずだが、本日は歌詞のない旋律（響き）だけの演奏となる。にもかかわらず、この曲には「祈り」のようなものを感じさせられることと思う。この作品にはモーツアルトの祈りが込められているのかもしれない。本日は特別な編曲をせず、合唱部をマンドリンとマンドラで、オーケストラ部をピアノで演奏する。

Hermann Ambrosius: 組曲第6番

K. ヴェルキの作品に見られるような管楽器を含めた大編成のオーケストラが中心だったドイツで、1933年にアンブロジウスがこの「組曲第6番」を発表した。それまでの大編成の作品とは全く方向が違い、小編成による室内樂的な響きを追求するものだった。また、それまでのトレモロを中心

とする演奏ではなく、スタカートを中心にし、効果のある所だけにトレモロを用いた。

この作品は非常な注目を浴び、大編成志向だったヴェルキも小編成の作品を中心に作曲するようになり、この傾向がドイツのマンドリン音楽の主流となっていました。

1. Präludium. Andante con moto ドイツ的な直線的なトレモロの響きが特徴
2. Menuett. Allegro modrato シンコペーションのリズムの後にマンドラが美しく歌う。その後再びシンコペーションのリズムが響く
3. Sarabande Andante 少しくらいリズムの上に、マンドラが朗々と歌う。途中からは第1マンドリンとの掛け合いになる
4. Gavotte. Allegretto 一転して、明るく軽快な2拍子のリズムになる
5. Badinerie. Allegro molto さらに速い2拍子の舞曲 途中で変拍子になるが、もとの主題があらわれるとフィナーレへと突き進む

アマデイマンドリンアンサンブル

マンドリン 久松祥三 宮本朋子 坂本浩隆 石塚美智子 川畠早苗
マンドラ 巴森太郎 平山美香

マンドリンのために数々の美しい小品を残した作曲家、
アメデオアマデイ (Amedeo Amadei 1866-193) の名前をいただきました。

久松祥三が主宰する室内楽的なアンサンブルで、マンドリン教室のアンサンブルクラスを兼ねています。

メンバーは久松の生徒や仲間が中心ですが、別の団体に所属していても勉強のために参加する事も自由です。

また、演奏会のときにはプロの音楽家が加わることもあります。

一緒に合奏しませんか。



久松祥三 Profile

成城大学文芸学部芸術学科（音楽学・音楽史専攻）卒業
卒業論文「マンドリンオーケストラの発達と現状」制作
宗教法人聖グレゴリオの家附属宗教音楽研究所「教会音楽科」本科修了
CD「18世紀マンドリンとオルガン（通奏低音）の為のソナタ集」
および「古典派のマンドリン作品集」リリース
現在
読売日本テレビ文化センター北千住、よみうり文化センター川越、
ヨークカルチャーセンター八柱店、草加カルチャーセンター 各講師
アマデイマンドリンアンサンブル主宰
栃木県立栃木女子高等学校ギター・マンドリン部学外講師

連絡先

<http://hisamatsu.org/>
E-mail: info@hisamatsu.org
電話: 070-5543-5117 Fax: 048-941-0323

久松祥三最新CD

モーツアルト作曲 二つのマンドリンのための12の二重奏小曲集 K.487(496a)

マンドリン
久松祥三 巴森太郎

価格：2,000円（送料200円）

お申し込みはこちらへ
E-mail: info@hisamatsu.org
電話: 070-5543-5117

